

文化の秋多彩に

【脊振町文化祭】

第26回「脊振森林の里文化フェスティバル」が、11月6日、脊振勤労者体育館をメイン会場に開催されました。



保育園児から高齢者まで、ステージでの活動発表や作品展示、航空自衛隊背振山分屯基地の協力によるカレーの野外炊飯実演や面浮立の上演、また、脊振産もち米を使ったもちつき及び試食、地元農産物の販売等、脊振町の一大イベントとして大変賑わった文化祭でした。

【神埼町文化祭】

11月2日から6日まで、神埼市文化連盟神埼支部主催の第26回神埼町文化祭が、神埼市中央公民館で開催されました。

展示部門は、11月2日から6日にかけて、会議室・ロビーを会場として、生け花、絵画、書、陶芸、パッチワーク、絵手紙など市民の力作が5日間にわたって展示されました

11月3日には、ステージ公演と記念式典が行われ、その完成度に観客からは惜しみない拍手が送られていました。最後に抽選会で盛り上がり幕を閉じました。最終日には、第9回美しい日本語暗唱大会が開催されました。



【千代田町文化祭】



10月28日から30日まで、はんぎーホールと千代田町保健センターで、第32回千代田町文化祭が開催されました。

保健センターでは、作品展示が行われ、多数の力作が並びました。写真や習字・絵画・生け花など芸術に富んだ作品に、多くの観客が見入っていました。はんぎーホールでは、ステージ部門として、歌や踊りなどが披露されました。園児の元気な和太鼓が始まったこの部門では、日本舞踊や高志狂言といった伝統芸能も披露され、訪れた観客を魅了していました。最後には、婦人会により元気いっぱいの子供たちが披露され、盛況のうちに幕が閉じられました。

美しい日本語暗唱・朗読大会

11月6日に行われた第9回美しい日本語暗唱・朗読大会には、小・中学生70組が参加し、学校や家で一生懸命練習してきた成果を堂々と披露しました。詩や昔話、古典や落語など工夫をこらした発表に会場から盛んな拍手が送られました。

結果は、次のとおりです。

(敬称略)

【暗唱の部】

○小学1・2年生の部

優 秀 高木玲奈(中部小)

準優秀 豊福希未(中部小)

○小学3年生の部

優 秀 服巻聡汰(神埼小)

準優秀 鍋島冬花(神埼小)

○小学4年生の部

優 秀 宇木美聡(神埼小)

準優秀 田村圭司郎(神埼小)

○小学5・6年生の部

優 秀 佐藤 優(神埼小)

準優秀 松尾菜々美(神埼小)

○中学生の部

優 秀 宇木太河(香楠中2年)

準優秀 石丸千博(附属中2年)

○ペアの部

優 秀 森山和貴(西郷小3年)

川頭史空(西郷小3年)

準優秀 八谷万葉(神埼小3年)

末永有里菜(神埼小3年)

ゆるキャラの聖地へ



10月22日、23日、「ゆるキャラまつりin彦根」が滋賀県彦根市で行われました。

ゆるキャラの聖地には210体のゆるキャラが大集合し、2日間で延べ約7万8000人と過去最高の人出を記録しました。その中で、神埼市のブースでは、秋の観光情報やそうめんなど物産のPRをしてきました。初めて参加したくねんワン、くねんニャンですが、かわいいと評判で写真撮影に行列ができるなど来場者とふれあい、終日にぎわっていました。

次郎の里少年相撲大会

10月23日、第6回神崎市次郎の里少年相撲大会（神崎市体育協会主催）が次郎の森公園相撲場（千代田町）で行われ、幼児から小学生まで67人が参加しました。当日は、あいにく肌寒い天気となりましたが、試合が始まると豆力士たちは白熱した戦いを繰り広げ、会場を盛り上げていました。

大会結果は、次のとおりです。

【個人戦】

- 幼児の部
 - 優勝 園田紗也（ちとせ幼）
 - 準優勝 園田竜士（ちとせ幼）
 - 3位 平井萌南（ちよだ保）
- 小学1年生の部
 - 優勝 家永智大（中部小）
 - 準優勝 平井隼生（西部小）
 - 3位 辻廉太郎（神崎ク）



榊田宮子ども相撲大会

10月8日、第6回榊田宮子ども相撲大会が神崎町の榊田宮相撲場で行われました。

大会には幼児から小学生高学年まで22人が参加。力いっぱい熱戦を展開しました。中には土俵際でもつれ、取り直しになる好勝負もあり、応援席から歓声が沸いていました。優勝者は次のとおりです。

【個人戦】（敬称略）

- 幼児の部
 - 園田 紗也（ちとせ幼稚園）
 - 小学1年生の部
 - 辻 廉太郎（鳥栖旭小）



- 小学2年生の部
 - 優勝 坂井裕八（東部小）
 - 準優勝 米倉智樹（東部小）
 - 3位 橋本和俊（東部小）
- 小学3年生の部
 - 優勝 吉田勇樹（中部小）
 - 準優勝 箆島稜麻（東部小）
 - 3位 江頭光希（東部小）
- 小学4年生の部
 - 優勝 友永健生（神崎小）

【団体戦】

- 優勝 千代田東部小A
 - 準優勝 千代田中部小
 - 3位 神崎市相撲クラブ
- ※ちとせ幼↓ちとせ幼稚園
ちよだ保↓ちよだ保育園
神崎ク↓神崎市相撲クラブ
神崎小↓神崎小学校
東部小↓千代田東部小学校
中部小↓千代田中部小学校
西部小↓千代田西部小学校

○小学2年生の部

辻 徹平（鳥栖旭小）

○小学3年生の部

箆島 稜麻（千代田東部小）

○小学4年生の部

友永 健生（神崎小）

○小学6年生の部

石丸 怜耶（神崎小）

【団体戦】

- 低学年の部
 - 神崎市相撲クラブ
- 高学年の部
 - 本堀チーム

第64回県民体育大会

10月15日、16日、鳥栖・三神地区で第64回県民体育大会（佐賀県・佐賀県教育委員会等主催）が行われました。17競技約370人の選手の方々は、神崎市の代表として、正々堂々と競技を行い、白熱した試合を繰り広げました。

各種目の競技結果は次のとおりです。（敬称略）

○1位

- ・ソフトボール競技一般男子B（大田智幸、野中清次、西岡弘人、塚本誠、手塚登、家永秀文、野口良照、野中敏宏、大嶋剛、迎耕二、光吉和之、石丸誠、原真一郎、鶴智広、迎和幸、福富浩次、藤瀬和彦）
- ・剣道競技一般男子A（渡辺義孝、手塚豊、佐藤孝幸、野田秀和、野田敬義、八坂嘉博、下西敬）
- ・剣道競技一般女子（馬郡奈保子、田原千鶴、井上智世、永原由紀子、原礼、中原恵梨）

○2位

- ・ソフトボール競技一般女子
- ・ソフトテニス一般男子
- ・空手道（組手）一般男子

○3位

- ・バレーボール競技一般女子
- ・バスケットボール競技一般男子
- ・軟式野球一般男子B

・空手道（総合）一般男子
また、個人で入賞された方は次のとおりです。（敬称略）

○1位

- ・松永正則（水泳競技、50～59歳25m自由形）
- ・重松宏樹（陸上競技、男子200m）
- 2位
 - ・重松宏樹（陸上競技、男子18～29歳100m）
 - ・増田稔久（陸上競技、男子30～39歳砲丸投げ）



▲ソフトボール競技優勝の一般男子Bの皆さん



▲剣道競技優勝の一般男子A、一般女子の皆さん

王仁博士を縁に交流深める

11月4日、韓国全羅南道靈岩郡の訪問団が神埼市を訪れました。

霊岩郡は、日本に論語や千字文(漢字)などの百済文化を伝えたといわれる王仁博士の生誕地で、神埼市からも神埼町観光協会が市民参加を募集し、毎年訪問ツアーを行い、王仁博士の顕彰と調査研究を重ねています。

今回、霊岩郡からは、郡守、議長をはじめとする19人が来訪。神埼町竹原の王仁天満宮を参拝された後、市内で行われた歓迎レセプションでも市内関係者らと交流され、今後の親交を深められました。

地元の方々が出迎
えられました ▶



高志狂言「鷺流狂言」に出演

高志狂言保存会は、11月5日に山口県山口市で開催された記念公演に出演しました。

この催しは、野田神社能楽堂移設20年記念公演「鷺流狂言」として山口鷺流狂言保存会が、山口県、山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会などの後援を受け実施したものです。

現在国内には、明治時代に家元が途絶えた「鷺流」狂言を伝承する佐渡鷺流狂言研究会(新潟県)、山口鷺流狂言保存会(山口県)、高志狂言保存会の三団体があります。平成12年に東京能楽堂(鷺流狂言の流れをたどって)で初めて共演し、その

後、平成16年に山口市(鷺流狂言 家元なき芸を今に伝える)、平成17年に千代田町(鷺流狂言の集い)、平成18年に佐渡市(千鳥を樂しむ会)で共演し、「鷺流狂言三兄弟」として交流を図ってきましたが、今回久し振りに共演しました。あいにくの雨が降る野外会場での公演でしたが、架設テントの中に狂言ファン約300人が集まり熱心に鑑賞され、狂言独特の言い回し、所作に大きな笑いが絶えませんでした。



二丁目老人クラブが健闘！ 交通安全高齢者自転車大会



神埼町一丁目老人クラブ(中高隆次会長)は、10月1日、佐賀市の大和勤労者体育館で開催された佐賀県交通安全高齢者自転車大会に神埼地区(神崎市・吉野ヶ里町)代表として出場しました。

その結果、入賞は逃したものの、選手5人のうち3人が敢闘賞を受賞するなど健闘されました。今後も地域の交通安全活動のリーダーとして積極的に活動을続けることにしています。

九州最大の展示会に 市内企業が出展

10月12日から14日まで、ものづくりが積極的に取り組む中小企業の販路開拓と技術交流を応援する「中小企業テクノフェア in九州」が福岡県北九州市で開催され、神崎市企業連絡協議会の中から熊本電気工業株式会社(神埼町)・株式会社テクノ九州(神埼町)・株式会社ハットリ工業(神埼町)・シンエイメタルテック株式会社(千代田町)の4社が出展されました。

出展された各社では、自ら培った技術力により開発した製品や技術について実演を交えた積極的なPR活動を展開、来場者の反応に手ごたえを確かめら

れていたほか、出展者間でも幅広い情報交換が行われ、ものづくりに対する意欲を高められました。



好評だったあゆすり会



子供服などの育児用品のおゆすり会が、11月6日に脊振中学校ランテールーム(育友会主催)と千代田町保健センター(神崎市母子保健推進協議会主催)で、11月8日に、神埼町保健センター(神崎市母子保健推進協議会主催)で行われました。

市民の皆さまから提供された育児用品は、これから子育てで必要な方へもらわれていき、大好評のうちに終了しました。開催にあたり、ご協力をいただき、ありがとうございました。

戦没者追悼式

11月15日、神埼市中央公民館で、神埼市戦没者追悼式が厳粛に行われました。

戦没者904柱（脊振町98柱、神埼町478柱、千代田町328柱）の御霊に対し、遺族ら約350人が出席して戦没者の冥福を祈るとともに、平和への気持ちを新たにしていました。

祭壇には、11月7日から14日まで行われた第42回神埼町老人クラブ菊花展に出品された菊も献花され、会場は、菊の香りに包まれていました。



九年庵記念切手を贈呈

国の名勝九年庵を題材にしたオリジナルフレーム切手の贈呈式が11月11日、市役所で行われました。

式では、郵便局株式会社九州支社の馬越喜仁佐賀県本部長が「地域の発展に役立てて」と松本市長に80円、田中副市長に50円のフレーム切手を贈呈しました。

松本市長は「昨年よりも良い仕上がり。いいPR材料ができました」とお礼を述べました。

フレーム切手は、特殊な技術で写真を切手に印刷したもので、1シートに10枚、九年庵の四季の風景が印刷されています。

今年は、昨年好評だったため、100シート多い1100シートずつ販売されます。

販売は、県内南部の簡易郵便局を除く114局で来年1月31日まで販売されます。1シートの価格は、80円が1,200円、50円が900円となっています。



本番さながらの演習実施

県内で鳥インフルエンザが発生した場合に備え、佐賀県鳥インフルエンザ防疫演習が10月27日、神埼市役所で行われました。

この演習は鳥インフルエンザが発生したと想定し、関係機関との連絡調整をマニュアルに基づき訓練することで、問題点や現場の防疫対応を確認するのが目的です。

今回、神埼市として初の訓練で、市の農林水産課を含め、関係者約30人が参加。対策本部と連動し、関係各所への通達や防疫作業計画等の作成などを訓練しました。



地域振興のための人づくりを

「教育の日」制定記念式典・講演会開催

11月1日、神埼市「教育の日」制定記念式典および講演会が、千代田文化会館（はんぎーホール）で開催されました。

市民の教育に対する関心と理解を深め、本市教育の充実と発展を図るとともに、郷土を愛し、地域社会の振興に主体的に取り組む人づくりを期して設けたものです。

式典では、市教委の津山剛委員長が「地域振興のため人材育成に取り組もう」と挨拶し、松本市長が「少子高齢化などの問題も多いが、教育の充実を図り、市の発展を図りたい」と祝辞を述べました。また、教育功労者・協力者として下記の6人2団体の方を表彰しました。

式典後、弁護士堀田力先生の「日本の教育のあるべき姿－日本の子どもの未来像－」と題した講演の中では、これからの教育に対しての示唆をいただき、来場者も時間を忘れて聞き入っていました。

今後、11月1日は神埼市「教育の日」として、毎年式典と講演会が行われる予定です。



《神埼市「教育の日」表彰を受けられた方(団体)》

境 ツヤ子様（姉川） 北川 結子様（下西）
一番ヶ瀬克巳様（服巻） 吉井 久子様（姉）
永原 則昭様（渡瀬） 吉原 俊樹様（神埼）
おはなし会「おひさま」様 すぎの子文庫様

神埼町犬の目地区で事業完了！

コミュニティ助成事業

平成23年度のコミュニティ助成事業で採択を受けている3団体のうち、犬の目地区で助成事業が完了しました。これにより、採択地区すべての事業が完了しました。

◎犬の目地区

・防災設備等の整備（地域防災育成組織事業）



▲ホース格納庫
◀避難場所標識



この事業は、(財)自治総合センターが、コミュニティ活動の助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの社会貢献広報事業を行うことを目的に実施されています。